



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社遠藤製作所

上場取引所 東

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 大史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部担当 (氏名) 石原 睦

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	6,171	76.0	859		908		661	
2020年12月期第2四半期	3,506	31.4	325		317		342	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 667百万円 (%) 2020年12月期第2四半期 755百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	75.66	
2020年12月期第2四半期	39.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,065	15,801	82.9
2020年12月期	17,964	15,239	84.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 15,801百万円 2020年12月期 15,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		12.00	12.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	36.5	1,150		1,100		850		97.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	9,441,800 株	2020年12月期	9,441,800 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2021年12月期2Q	694,071 株	2020年12月期	694,071 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	8,747,729 株	2020年12月期2Q	8,740,087 株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注)期末自己株式数には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2021年12月期2Q67,200株、2020年12月期67,200株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年12月期2Q67,200株、2020年12月期2Q74,842株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で経済に持ち直しの動きがみられるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、経済活動は大きく制限され、先行きに対する不透明感が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先に対し受注獲得の取り組みを強化し、開発力の向上と高付加価値製品の供給に努めるとともに、全社で生産効率の向上、製造原価の低減、一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、一部で受注の回復等も見られ、売上高は61億71百万円（前年同期比76.0%増）となりました。利益面につきましては、生産効率の向上、コスト低減に努め、売上高の増加等により、営業利益8億59百万円（前年同期は3億25百万円の営業損失）、経常利益9億8百万円（前年同期は3億17百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億61百万円（前年同期は3億42百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（ゴルフ事業）

ゴルフ事業につきましては、主力取引先の受注拡大及び企画開発力の向上、品質の向上に努め、ゴルフ市場全体が好調に推移していること等もあり受注数が増加しました。また、生産効率の向上や製造コストの低減に取り組んだ結果、売上高28億35百万円（前年同期比81.5%増）、営業利益6億87百万円（前年同期は28百万円の営業利益）となりました。

（メタルスリーブ事業）

メタルスリーブ事業につきましては、高機能製品の開発・提案や新分野・新規販路の開拓に努めるとともに、生産性の向上・合理化、製造原価の低減を進め、売上高5億7百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益58百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

（鍛造事業）

鍛造事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の操業停止等から生産数が大幅に減少した状況からの回復に加え、主要取引先との関係の強化に努め、積極的な営業活動と新規販路の開拓に取り組みました。また、生産性の向上、コストの削減を進め、受注数が一部で回復したこと等により、売上高28億29百万円（前年同期比82.4%増）、営業利益3億60百万円（前年同期は1億22百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、190億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億1百万円増加いたしました。

流動資産は、107億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億12百万円増加いたしました。この主な要因は、電子記録債権、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、82億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億88百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、32億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億39百万円増加いたしました。

流動負債は、19億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億97百万円増加いたしました。この主な要因は、賞与引当金、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、13億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加いたしました。この主な要因は、繰延税金負債等によるものであります。

純資産合計は、158億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億61百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億13百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億8百万円、減価償却費4億71百万円、賞与引当金の増加額2億86百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億28百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出5億99百万円、有形固定資産の取得による支出3億44百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億74百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額1億5百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は61億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月11日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲など様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,441,217	6,353,627
受取手形及び売掛金	2,238,417	2,413,845
電子記録債権	105,633	284,371
有価証券	—	100,000
商品及び製品	428,151	448,617
仕掛品	377,592	482,789
原材料及び貯蔵品	570,043	642,371
その他	116,076	66,362
貸倒引当金	△12,674	△15,259
流動資産合計	10,264,455	10,776,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,905,727	2,793,117
機械装置及び運搬具（純額）	1,600,655	1,586,671
工具、器具及び備品（純額）	131,026	134,179
土地	1,424,899	1,453,978
建設仮勘定	203,755	239,131
有形固定資産合計	6,266,065	6,207,078
無形固定資産		
投資その他の資産	53,607	48,576
投資有価証券	544,400	1,144,344
投資不動産（純額）	239,162	237,968
退職給付に係る資産	528,294	555,313
繰延税金資産	46,445	76,846
その他	21,914	18,702
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	1,379,917	2,032,875
固定資産合計	7,699,590	8,288,530
資産合計	17,964,046	19,065,256

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	681,508	785,256
短期借入金	100,000	50,000
未払法人税等	89,332	176,084
未払金及び未払費用	351,031	382,316
賞与引当金	100,650	386,654
その他	137,740	177,689
流動負債合計	1,460,264	1,958,002
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
繰延税金負債	165,847	190,100
退職給付に係る負債	380,389	389,983
役員株式給付引当金	25,822	32,402
資産除去債務	49,881	48,570
その他	42,194	45,036
固定負債合計	1,264,135	1,306,092
負債合計	2,724,400	3,264,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,220,643	1,220,643
利益剰余金	11,735,683	12,291,729
自己株式	△299,246	△299,246
株主資本合計	13,898,869	14,454,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,611	△16,914
為替換算調整勘定	1,394,548	1,389,748
退職給付に係る調整累計額	△28,160	△26,587
その他の包括利益累計額合計	1,340,776	1,346,247
純資産合計	15,239,646	15,801,162
負債純資産合計	17,964,046	19,065,256

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）
売上高	3,506,653	6,171,885
売上原価	3,187,593	4,483,702
売上総利益	319,059	1,688,182
販売費及び一般管理費	644,319	829,116
営業利益又は営業損失（△）	△325,259	859,066
営業外収益		
受取利息	11,384	6,541
受取配当金	1,748	1,480
投資不動産賃貸料	6,695	5,329
助成金収入	2,601	37,003
為替差益	22,078	677
その他	5,941	19,054
営業外収益合計	50,449	70,086
営業外費用		
支払利息	2,926	1,908
投資不動産賃貸費用	5,616	4,720
投資有価証券評価損	4,215	—
投資事業組合運用損	19,364	7,413
その他	10,485	6,706
営業外費用合計	42,607	20,748
経常利益又は経常損失（△）	△317,418	908,405
特別利益		
固定資産売却益	30,447	—
特別利益合計	30,447	—
特別損失		
減損損失	9,669	—
特別損失合計	9,669	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△296,640	908,405
法人税、住民税及び事業税	66,717	256,289
法人税等調整額	△20,715	△9,710
法人税等合計	46,001	246,579
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△342,641	661,825
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△342,641	661,825

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△342,641	661,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,078	8,696
為替換算調整勘定	△401,716	△4,800
退職給付に係る調整額	647	1,573
その他の包括利益合計	△413,146	5,470
四半期包括利益	△755,788	667,295
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△755,788	667,295
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△296,640	908,405
減価償却費	447,267	471,014
減損損失	9,669	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,932	2,584
賞与引当金の増減額（△は減少）	123,292	286,004
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1,267	11,334
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	△2,975	6,580
受取利息及び受取配当金	△13,132	△8,021
支払利息	2,926	1,908
為替差損益（△は益）	△8,407	1,360
有形固定資産売却損益（△は益）	△30,447	—
投資有価証券評価損益（△は益）	4,215	—
投資事業組合運用損益（△は益）	19,364	7,413
売上債権の増減額（△は増加）	452,636	△355,894
たな卸資産の増減額（△は増加）	△67,694	△201,293
仕入債務の増減額（△は減少）	△263,345	136,448
未収消費税等の増減額（△は増加）	△16,451	782
その他	75,543	△5,032
小計	429,622	1,263,594
利息及び配当金の受取額	13,143	8,026
利息の支払額	△2,874	△1,920
法人税等の支払額	△56,284	△155,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,607	1,113,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	2,734	101,308
有形固定資産の取得による支出	△497,386	△344,829
有形固定資産の売却による収入	145,626	16,376
無形固定資産の取得による支出	△13,403	△270
固定資産の除却による支出	△2,341	—
投資有価証券の取得による支出	△5,469	△599,135
その他	10	△1,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,229	△828,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△18,808	△18,590
自己株式の処分による収入	9,247	—
配当金の支払額	△132,223	△105,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,785	△174,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△176,335	2,663
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△354,742	113,720
現金及び現金同等物の期首残高	6,786,394	6,043,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,431,651	6,157,243

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の仮定および会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（セグメント情報等）

I. 前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,562,090	393,930	1,550,632	3,506,653	—	3,506,653
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,562,090	393,930	1,550,632	3,506,653	—	3,506,653
セグメント利益又は損失(△)	28,349	△31,570	△122,100	△125,321	△199,938	△325,259

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△199,938千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△199,938千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、504千円であります。

「メタルスリーブ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、495千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、8,669千円であります。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,835,602	507,239	2,829,043	6,171,885	—	6,171,885
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,462	—	—	1,462	△1,462	—
計	2,837,064	507,239	2,829,043	6,173,347	△1,462	6,171,885
セグメント利益	687,424	58,608	360,352	1,106,386	△247,319	859,066

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,319千円には、セグメント間取引の消去△1,462千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△245,857千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。